**横浜市アマチュア無線非常通信協力会について**

【はじめに】

大震災の時には、有線電話も携帯電話も殆ど使えなくなります。災害に強いアマチュア無線の活用が注目され、青葉区でも通信の重要性が確認され、防災拠点の１つの大きな柱に育ちつつあります。本会は関係団体と協力して次のような活動しています。

【組織と活動概要】

　①青葉区のアマチュア無線局によるボランティア活動です。

　（横浜市１８区に支部があり、2017年５月現在、全会員９９６名　青葉区は６６名）

　②横浜市との協定を結んで、電波法第５２条第４項に定める災害が発生し、または発生する

おそれがあり、市（区、消防）から要請があった場合に災害情報の収集及び伝達に協力します。

③青葉区の医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会と共に訓練を重ねています。

　④青葉区役所４Ｆ総務部の基地局（ＪＯ１ＹＴＳ）、各防災拠点、昭和大学藤が丘病院、

横浜総合病院などに入って、「情報収集と伝達補助」を行います。

（災害時地域定点診療拠点ではトリアージ通信補助、地域防災拠点では開設連絡を

はじめとする区役所との通信補助、他の拠点との情報交換等）

【地域防災拠点と災害時地域定点診療拠点の開設】

青葉区の防災拠点は全４１箇所、その内、災害時地域定点診療拠点は１２箇所です。

美しが丘小学校小、元石川小学校のような災害時地域定点診療拠点は、青葉区内で

６弱以上の揺れが観測された場合開設します。開設期間の目安は３日（７２時間）です。

一般の地域防災拠点は横浜市内で一カ所でも震度５強以上のものが発生された場合開設

します。開設期間は避難者がいる間です。

【ブロックとメンバーの募集】

・非常通信協力会青葉区支部にはＡ～Ｆの６ブロックありますが、ここはＡブロックです。

（美しが丘小、美しが丘中、美しが丘東小、美しが丘西小、新石川小、元石川小、山内小）

Ａブロック会員は現在１０人程度で、まだまだメンバーが不足しています。

スタッフを随時募集しています。私たちと共に、地域の防災活動をしてみませんか。

・アマチュア無線の免許をお持ちの方も、これから免許を取得したいとお考えの方も是非

　お気軽にスタッフまでお声がけ下さい。詳細案内をさせて頂きます。

【問い合せ先】：Ａブロック長 坂村901-8013 副ブロック長：宮本090-9678-4994

　　　　　　青葉区副支部長　上野090-8817-7906